

梅の香りに、思わずにっこり

祝いの席のためにつくられる打ち菓子。

各地に残る菓子の木型を集め、

茨城県の無形文化財、西ノ内紙で写し取る。

その二つひとつの記憶を集積、構成してアートへと昇華させる。

永田哲也さんの作品には、力強さとユーモアがある。

年明けを祝う梅と、福々しいおかめの組み合わせ。

(31×42cm) ￥206,800

<https://tetsuyanagata.jp>



永田哲也

「和菓紙三昧」

《福梅》